

東急不動産 × 灯りナビゲーター結城未来 × パナソニック

光に着目した生活スタイルを新提案

暮らしのシーンに合わせて照明をコントロールし、生活の質の向上を

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:金指 潔)は、灯りナビゲーター結城未来(ゆうきみく)氏と、パナソニック株式会社(本社:大阪府門真市、取締役社長:津賀 一宏)とのコラボレーションにより、東急不動産が分譲するマンション「BRANZ(ブランズ)」に、分譲マンションにおいて初の取組みとなる暮らしのシーンに合わせた照明プランを取り入れます。

光の人間への影響力は注目され始めています。しかし、実際の暮らしの中では光を意識した生活はほとんどされておらず、ダイニングやリビングの照明の位置やその照度も、画一的なものとなっています。“五感に響く住まい”による新しい価値の提供を志向する「BRANZ」は視覚における光に着目し、「灯り」の活用術を提唱されている結城氏の監修の下、食事の支度やお子さんの勉強時間、夕食の時間、寛ぎの時間、就寝中の時間等、それぞれのシーンに合わせて、リラクゼーション効果や集中力を高め、生活のクオリティを高めることのできる、新しい照明プランを実現いたしました。

照明プランの実現に当たり、「さまざまなシーンに適した灯し方」を提唱しているパナソニック株式会社の、調色する機能を持たせた「シンクロ調色LED照明」と、点灯・調色・消灯の機能を1つに集約させた「リビングライコン」を取り入れました。これらの製品を巧みに組み合わせる事により、心地良い光の色と明るさを簡単に操作することが可能となり、実際の家庭でも各シーンに合わせた細やかな調光を実現します。

導入第1弾となる「ブランズ溝の口(所在:川崎市高津区、総戸数:63戸)」は、6月22日(土)より上記の照明プラン(※1)を採用したモデルルームの一般公開を開始し、7月下旬より第一期の販売登録を開始する予定です。同物件に続く「ブランズ中目黒(所在:東京都目黒区、総戸数:23戸、7月モデルルームオープン予定)」でも、同様の提案を予定しており、今後、供給後のお客様のニーズを検証した上で、供給物件への標準化も検討してまいります。

(※1)住戸への当該照明プランの採用はオプション(有償)となります。

■結城未来氏による、暮らしのシーンに合わせた灯りの提案



灯りナビゲーター 結城 未来氏 プロフィール

キャスターやレポーターとしてテレビ出演する一方、インテリアコーディネーターや色彩コーディネーター、照明コンサルタントなどの資格を活かし、日本初の「灯りナビゲーター」として活躍中。経済産業省や環境省と節電対策などにも取り組んでいる。執筆、講演などでは独自の視点から捉えた“光の活用術”が分かりやすいと注目を集めている。著書には「頭が良くなる照明術」(PHP 新書)、「人を動かす照明術」(ソフトバンク新書)、「照明リフォームでお部屋の模様替え」(小学館)などがある。

・照明を上手に利用して、快適な生活を送る

日常生活の中で人は光に無頓着なため、不要なストレスを抱えたまま暮らしているご家庭を多く目にします。光を有効に使うことで生活のクオリティを高め、住まう人を新しいライフステージへ誘うことができます。ご家族が寄り添え、心身が健康に導かれ前向きになれること。ただ癒されるだけではなく、暮らすうちにいつの間にかご家族の暮らしがより良い方向に向かっていく。そんな暮らしを望める住まいを「ブランズ溝の口」でご提供することを考えました。

・住まいをもっと心地よく 灯りが変える、暮らしを変える

光には、人の心や体に大きく働きかける力があり、光はやすらぎや癒しにつながる様々なシーンを演出してくれます。光の色や明るさを工夫することで、毎日をより快適でイキイキとしたものにする、新しい灯りの形を提案します。

ポイント1 感覚の約8割は視覚

人間の感覚の8割は視覚と言われています。その視覚に大きく働きかけるのが目から入る光です。近年の研究で、光が睡眠や体内リズムなどに大きな影響を与えることがわかっています。人間は太陽の光と何万年も昔から付き合っているため、光に対して体がギアチェンジをするようにできています。ところが現代人は夜遅くまで昼間のような光の中で生活しているので、脳や体のリズムを崩してしまい、それがストレスや体の不調にもつながってしまうと言われています。

ポイント2 生活の様々なシーンでの光の切り替え

今回、「ブランズ溝の口」では、住む方がいつの間にか自然な形で照明の効果を上手に取り入れた暮らしを送れるよう、“照明のコントロール”を考えています。“生活のシーンに合わせてスイッチを押すだけ”で光の演出を変えることができ、生活のクオリティを高め、住まう人は毎日を元気に過ごし、生活の活力を得ることが可能となります。

(生活のシーンに合わせた光の切り替え例)

- ・ リビングで、シーンに合わせて光を使いこなす(食事の支度、お子さんの勉強やパソコンの作業、寛ぎの時間)
- ・ ベッドルームで、就寝と起床に合わせた光の演出(目覚めの時間、お休み前の寛ぎの時間、就寝中の時間)

■パナソニックによる、暮らしのシーンに合わせた細やかな照明

明るさと光の色の関係を科学し、人間が生理的に心地良いと感じるバランスを持った照明をパナソニック社では商品化。「シンクロ調色LED照明」と「リビングライコン」により、暮らしのシーンに合わせた多彩な演出を実現します。

①「シンクロ調色LED照明」の特長

- ・ 明るさだけでなく無く、光りの色も変えられる照明器具。
- ・ 明るさ、色の両方にシンクロし、心地よい光色に変化させ、同じ部屋でひとつの灯りで暮らしのシーンを切り替えることが可能。最適な光の調色バランスを独自の技術でオートコントロール。

②「リビングライコン」の特長

- ・ 壁にたくさんのスイッチを付けることなく複数の灯り設定を1台にまとめ、手軽にあかりの演出が可能。
- ・ 必要な時に必要な灯りを調光することで消費電力を抑えることができ、エネルギー&コストの節約による省エネ効果も。

■「ブランド溝の口」での具体例

ポイント1 ライフシーン別に光を切り替える

光を切り替えることで、ライフシーンに応じた灯りを演出することができます。家族の団欒をより楽しく和やかなものにしたたり、勉強に集中できる環境づくりをサポートするなど、灯りを通じて多彩な空間が生まれます。

- ・ 設定した灯りの演出をワンタッチで再現

「リビングライコン」によりシーンごとにお好みの灯り空間への切り替えが簡単にでき、気軽に灯りの力を生活に取り入れることが可能です。



リビングライコン(イメージ)

ポイント2 お子様の健やかな成長にも配慮

成長期のお子様は、活発に動き回るもの。そこで、勉強や遊びを何処でも目が疲れにくいような光に配慮しています。個室での勉強、ダイニングでの読書、スタディールームでの宿題など、お子様の集中力や勉強への意欲を自然と高める灯りの環境を用意しています。

シーン① 7:00AM ウェイクアップ ライト

朝日のように振り注ぐ光で、すっきりとした目覚めへと導きます。爽やかで活動的な屋白色の光が体内時計に働きかけ健全な一日のスタートへ。



シーン② 11:00AM リラックス ライト

究極のリラックス空間であるベッドルームは、普段から落ち着いた雰囲気。柔らかい光は過敏になりがちな心を和ませ、そこに居る人を優しく包みます。



シーン③ 11:30PM スリープ ライト

眠る30分前に黄昏のような柔らかな光に包まれることで、眠りの質がよくなると言われています。電球色の柔らかい光は、自然にスムーズな眠りへと誘ってくれます。



シーン④ 2:00AM ミッドナイト ライト

一緒に寝ているご家族やご自分の眠りを妨げることなく、夜中にトイレへ立つ時でも足元だけを安全に照らし、再度安心して深い眠りに就けるように配慮した灯りを設定しています。



シーン① 6:00PM アクティブ ライト

キッチンで食事の支度をする際には、日中の太陽のような昼白色の光で。この光は、手元を明るくするだけではなく、味覚を敏感にする効果が有ると言われています。

スタディールームでパソコン作業をされるご主人や、その傍らで宿題をするお子様にも昼白色の光を。隅々まで明るさが溢れ、視力をケア。更に、気持ちも積極的になり、ご家族一人ひとりがアクティブに過ごす時間にぴったりです。



シーン② 7:00PM ディナー ライト

お部屋全体を間接照明に。光の主役をダイニングテーブルにすることで、ご家族の意識をテーブルに集めます。光の色は、寛ぎ感が増す電球色に。高級レストランのようにお洒落な灯りの演出は、リラックスした雰囲気でお料理も美味しく感じ、笑顔があふれ楽しいディナータイムを生み出します。



シーン③ 8:00PM リラックス ライト

寛ぎのひとつときや趣味を楽しむ時間は、ぬくもり豊かな電球色で落ち着いた雰囲気に。会話を楽しみながら片づけをしたり、リビングでくつろいだり、スタディールームで明日の仕事の準備をするなど、ご家族が思い思いにリラックスできる灯りです。夕陽のように柔らかく包み込むような灯りにすることで、日中働き続けた体をクールダウン。おやすみ時間に向けて、心身をリラックスモードへ導きます。



シーン④ 9:00PM ホームシアター ライト

全体の明るさを抑えることで、映画館さながらの臨場感が楽しめます。ただし、目を傷めないように、テレビの背面は温かみのある灯りで明るく。目を守りながら楽しみも広げる灯りに設定になっています。



(参考)

■「ブランズ溝の口」の概要

所在地	川崎市高津区久本二丁目126-1他
交通	東急田園都市線「溝の口」駅 徒歩5分 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 徒歩4分
敷地面積	2,360.56㎡
延床面積	5,487.78㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上6階建
総戸数	63戸
間取り	2LDK~3LDK(予定)
専有面積	62.15㎡~77.71㎡(予定)
売主	東急不動産株式会社
施工	三井住友建設株式会社横浜支店
設計・監理	株式会社NEOデザイン
管理会社	株式会社東急コミュニティー
販売代理	東急リバブル株式会社
スケジュール	モデルルーム公開 2014年6月22日(土)より(予約制) 販売開始 2014年7月下旬第一期販売登録受付開始 竣工 2014年3月上旬(予定) 引渡 2014年3月下旬(予定)
物件HP	http://sumai.tokyu-land.co.jp/branz/mizonokuchi/



(「ブランズ溝の口」完成予想図)